



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年5月10日

上場会社名 ソフトマックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3671 URL http://www.s-max.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 野村 俊郎
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部担当(氏名) 濱平 耕一 (TEL) (099)226-1222
 四半期報告書提出予定日 2021年5月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	1,377	27.6	290	163.0	300	151.2	208	150.0
2020年12月期第1四半期	1,080	16.2	110	104.1	119	101.2	83	253.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	34.90	—
2020年12月期第1四半期	13.96	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	5,533	2,395	43.3
2020年12月期	5,689	2,259	39.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 2,395百万円 2020年12月期 2,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,867	△6.1	143	14.1	162	10.0	107	6.3	17.96
通期	4,500	11.9	472	5.9	510	4.4	337	0.7	56.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年12月期 1 Q	5,959,500株	2020年12月期	5,959,500株
---------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2021年12月期 1 Q	357株	2020年12月期	357株
---------------	------	-----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年12月期 1 Q	5,959,143株	2020年12月期 1 Q	5,959,236株
---------------	------------	---------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、実際の業績等は、様々な要因により、大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の4ページに記載した「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の長期化に伴い、わが国においても2度目の緊急事態宣言が発出されるなど、見通しは依然として不透明な状況となっています。

当社が事業展開している医療業界においては、新型コロナウイルス感染症が直接的な影響を及ぼし、当感染症患者の受け入れ如何を問わず、医療機関では医療サービスの提供を継続するための感染防止策等が医療従事者を始めとした医療資源に大きな負荷をかけています。そのような環境で、厚生労働省による「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」第5.1版への改定や、オンライン診療や電子処方箋等のICTの推進に加え、デジタル庁構想においては、医療をDX推進の重点分野の一つとする方向性が示されました。マイナンバーカードを利用したオンライン資格確認をはじめとしたデジタル化は国策であり、少子高齢化や社会保障費の増加、医療サービスの地域格差等の医療分野が抱える課題の解決において、電子カルテシステム等のソリューションやクラウド技術、AI、データ活用などのテクノロジーの重要性は一層高まるものと考えております。

このような状況の下、当社では、Web型電子カルテシステム「PlusUsカルテ」を中心に、電子カルテシステムの導入ニーズの高い中小規模病院への拡販、地域医療の中核を担う病院グループへのプライベートクラウド(※1)型システムの導入、既存顧客のリプレース需要と新規顧客のパブリッククラウド(※2)需要の取り込みに注力するとともに、オンライン資格確認に対応したシステム機能の追加等医療分野のデジタル化に関連したシステムの導入推進、協業パートナーの開拓等を進めてまいりました。また、開発・技術部門では、顧客目線に立ったシステム機能の充実と信頼性の確保という方針を基に、システムの機能強化、バージョンアップを継続するとともに、新たなテクノロジーの研究、顧客医療機関に対するサポート体制の強化、顧客満足度の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、2020年12月期から持ち越した案件を売上計上したこともあり、売上高は1,377,764千円(前年同四半期比27.6%増)に伸びました。一方、利益ベースでは、売上高の増加に加え、ハードウェア仕入や外注費等のコスト削減により売上総利益率が5.2ポイント増加し、営業利益290,132千円(前年同四半期比163.0%増)、経常利益300,950千円(前年同四半期比151.2%増)、四半期純利益208,002千円(前年同四半期比150.0%増)といずれも増益となりました。

また、受注状況につきましては、受注高814,360千円(前年同四半期比4.1%増)、受注残高1,385,879千円(前年同四半期比3.7%増)となりました。

(※1) プライベートクラウドとは、医療機関内に構築したクラウド環境で、同一医療法人内の複数施設から回線を通じてサーバーにアクセスし、アプリケーションを使用すること

(※2) パブリッククラウドとは、データセンターを利用したクラウドで、医療機関内にサーバーを設置せずにアプリケーションを使用すること

なお、セグメント別の業績につきましては、システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しておりますが、受注実績及び販売実績を種類別に示すと、次のとおりであります。

①受注実績

種類別	当第1四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)			
	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
システムソフトウェア	544,993	107.1	1,070,218	113.8
ハードウェア	269,366	98.4	315,660	79.8
合計	814,360	104.1	1,385,879	103.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

種類別	当第1四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	前年同四半期比 (%)
	販売高 (千円)	
システムソフトウェア	676,709	117.1
ハードウェア	386,011	182.1
保守サービス等	315,044	108.6
合計	1,377,764	127.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ、流動資産が151,479千円減少、固定資産が4,751千円減少した結果、156,231千円減少し、5,533,031千円となりました。流動資産の減少は、主に受取手形及び売掛金が186,725千円増加したものの、現金及び預金が170,013千円、仕掛品が162,031千円減少したことなどによるものです。一方、固定資産の減少は、主に、建物など有形固定資産が6,098千円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ、流動負債が10,885千円増加、固定負債が303,610千円減少した結果、292,724千円減少し、3,137,140千円となりました。流動負債の増加は、支払手形及び買掛金が112,785千円減少したものの、その他の流動負債が増加したことによるものです。一方、固定負債の減少は、長期借入金が306,885千円減少したことなどによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ、136,492千円増加し、2,395,891千円となりました。当第1四半期累計期間において、資本金及び資本剰余金の増減はなく、増加要因は、四半期純利益208,002千円の計上による利益剰余金の増加と第48期利益剰余金の配当金71,509千円の支払いによるものです。なお、自己資本比率は43.3%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の終息が見通せる時期までは、当面厳しい環境が継続していくものと思われまます。とりわけ、医療業界におきましては、地域の医療体制の維持、医療従事者の安全確保が喫緊の課題となっております。また、今回のコロナ禍を契機として、国の主要施策としてオンライン診療をはじめとした医療分野のデジタル化やDXを推進するという方針が打ち出されております。当社は、医療IT企業として、国のデジタル化推進方針に基づく医療政策、また各都道府県の掲げる地域医療構想に対応した医療のICT化への取り組みや医療DXを促進し、更なる医療への貢献を目指してまいります。

このような事業環境の下、当第1四半期累計期間においては、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」に記載のとおり、2020年12月期から持ち越した案件の売上計上により増収増益となりましたが、2021年12月期の業績予想につきましては、2021年2月8日公表時点の計画の範囲内のため、第2四半期累計期間、通期とも数値を据え置いております。なお、ワクチン接種の遅れや変異株の拡大により、新型コロナウイルス感染症の影響の予測は未だ困難であり、顧客である医療機関が当感染症の対策を優先させる方針をとった場合や院内への入館規制等により、当社の業績に影響を与え、業績予想について修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおりますので、実際の業績等は今後の業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,819,660	2,649,647
受取手形及び売掛金	587,823	774,548
商品	277	253
仕掛品	343,176	181,144
貯蔵品	679	674
その他	54,444	48,312
流動資産合計	3,806,061	3,654,581
固定資産		
有形固定資産		
土地	770,309	770,309
その他(純額)	311,162	305,064
有形固定資産合計	1,081,471	1,075,373
無形固定資産		
投資その他の資産	29,403	30,257
投資不動産(純額)	623,581	621,517
その他	148,745	151,301
投資その他の資産合計	772,326	772,819
固定資産合計	1,883,201	1,878,450
資産合計	5,689,263	5,533,031
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	901,283	788,498
短期借入金	1,150,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	27,540	327,540
未払法人税等	97,614	101,800
賞与引当金	-	39,900
その他	264,961	344,547
流動負債合計	2,441,399	2,452,285
固定負債		
長期借入金	520,265	213,380
退職給付引当金	293,290	275,933
役員退職慰労引当金	137,767	137,260
その他	37,142	58,281
固定負債合計	988,465	684,855
負債合計	3,429,865	3,137,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	424,250	424,250
資本剰余金	285,400	285,400
利益剰余金	1,550,041	1,686,534
自己株式	△293	△293
株主資本合計	2,259,398	2,395,891
純資産合計	2,259,398	2,395,891
負債純資産合計	5,689,263	5,533,031

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	1,080,087	1,377,764
売上原価	750,651	885,839
売上総利益	329,435	491,925
販売費及び一般管理費	219,120	201,792
営業利益	110,314	290,132
営業外収益		
受取利息	11	11
受取賃貸料	19,428	20,041
その他	127	464
営業外収益合計	19,567	20,517
営業外費用		
支払利息	2,679	1,831
賃貸費用	7,258	7,867
その他	131	-
営業外費用合計	10,070	9,699
経常利益	119,811	300,950
税引前四半期純利益	119,811	300,950
法人税、住民税及び事業税	44,249	95,141
法人税等調整額	△7,627	△2,193
法人税等合計	36,622	92,947
四半期純利益	83,188	208,002

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)及び当第1四半期累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

当社の事業は、システム事業の単一セグメントですので、記載は省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。